




Utility of the Geriatric 8 for the prediction of therapy-related toxicity in older adults with diffuse large B-cell lymphoma.

メタデータ	言語: eng 出版者: 公開日: 2021-03-23 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 辻, 加奈 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10098/00028724">http://hdl.handle.net/10098/00028724</a>

## 学位論文審査の結果の要旨

※ 整理番号		ふりがな 氏 名	つじ (おおいわ) かな 辻 (大岩) 加奈
学位論文題目	Utility of the Geriatric 8 for the prediction of therapy-related toxicity in older adults with diffuse large B-cell lymphoma (高齢者びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫における治療関連毒性予測に関する Geriatric 8 スコアの有用性)		
審査委員	主査	小林 基 弘	
	副査	青木 耕 久	
	副査	山内 高 弘	
<p>【背景と目的】びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫 (DLBCL) は、高齢者においても、高い相対治療強度 (RDI) を維持することにより治癒可能な疾患である。高齢者 DLBCL に化学療法を安全かつ効果的に行うためには、重篤な有害事象 (SAE) の管理が重要である。Geriatric 8 (G8) スコアは数分で高齢者機能を評価できる簡易評価ツールで、固形がんの化学療法においては 14 以下で SAE の発生頻度が高いことが報告されている。高齢者 DLBCL の標準治療の SAE 発生予測における、G8 スコアの有用性を検証した。</p> <p>【方法】2007 年から 2017 年に、3 施設 (福井大学病院、福井県立病院、福井赤十字病院) で標準治療を受けた 65 歳以上の新規の DLBCL 患者 398 例を対象に後方視的多施設研究を実施した。主要評価項目は SAE の発生とした。治療期間全体で、1 回以上発生した SAE をイベントと定義した。SAE に関連する因子の同定には、多変量ロジスティック回帰分析を使用した。restricted cubic spline (RCS) を用いた多変量ロジスティック回帰分析を行い、G8 スコアと SAE 発症の間における非直線的な関係性を評価した。</p> <p>【結果】対象患者のうち、SAE が発生した症例は 241 例であった。SAE 発生群は非発生群に比べ G8 スコアが有意に不良であった。SAE 発生に関連する臨床因子についての多変量ロジスティック回帰分析では、独立した SAE の予測因子として G8 スコアが抽出された。RCS を用いた多変量ロジスティック回帰分析では、SAE の発生率と G8 スコアとの間に非線形の関係性が示された。ROC 解析では、SAE の発生頻度に対する、最も識別性の高い G8 スコアのカットオフ値は 11 であった。また、SAE は化学療法の最初のコースで最も多く発生し、コースが進むにつれて減少した。</p> <p>【考察】高齢者 DLBCL の G8 スコアは、標準治療において SAE 発生の予測因子であった。ROC を用いた G8 スコアのカットオフ値は 11 であり、DLBCL における G8 のカットオフ値は、一般的な固形腫瘍のカットオフ値 (14) より低い可能性が示された。RDI の増加による SAE 発生リスクの上昇が懸念されたが、今回の研究では、RDI と SAE 発生頻度に関連がないことが示された。</p> <p>本学位論文は剽窃チェック及び、十分な査読を受けた上で、The Oncologist 誌に掲載されている。以上の知見により、本学学位論文として十分価値あるものと認める。</p> <p style="text-align: right;">(令和 3 年 2 月 8 日)</p>			

最終試験の結果の要旨

<p>※ 整理番号</p>		<p>ふりがな 氏 名</p>	<p>つじ (おおいわ) かな 辻 (大岩) 加奈</p>
<p>学位論文題目</p>	<p>Utility of the Geriatric 8 for the prediction of therapy-related toxicity in older adults with diffuse large B-cell lymphoma (高齢者びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫における治療関連毒性予測に関する Geriatric 8 スコアの有用性)</p>		
<p>審査委員</p>	<p>主査 小林 甚弘 副査 青木 耕史 副査 山内 高弘</p>		<p>印 印 印</p>
<p>上記の者に対し、<u>口頭</u>により、学位論文を中心とした関連分野について試問 筆 答 <u>合 格</u> を行った結果 と判定した。 不合格</p> <p style="text-align: right;">(令和 3 年 2 月 8 日)</p>			